

私たちの活動や意見を仲間  
で共有します。  
会費は県と日本平和委員会  
の活動も支えます。

# 土浦平和の会ニュース

2022年1月15日 第359号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//tutiuraheiva.web.fc2.com/

## 2022年幕開け

“戦争する国づくり” ストップ正念場の年



# 9条守れ・憲法生かせの大運動を

## 夏の参院選 暮らしも平和も守るあたりまえの政治に

コロナ感染が爆発的に広がる中、2022年の幕があきました。

オミクロン株の日本での感染は、沖縄をはじめ米軍基地関係者に由来することに注目が集まりました。玉城県知事の必死の訴えにもかかわらず政権は“日米地位協定”の金縛りにあって、言うべきことも言わない腰砕けです。完成の見通しもたたない辺野古の埋め立てに湯水のように税金をつぎ込み、住民のすぐそばでオ

スプレーが爆音を響かせる。世界で唯一の戦争被爆国で、しかも被爆地広島を地盤とする岸田首相が“核兵器禁止条約”に背を向ける。この国はいったいどこに行こうとしているのか。私たちの展望と活路はどこにあるのか。

昨年の総選挙は、表面的には私たちの期待に届かないものでした。しかし、市民と野党の共同は前回総選挙比で、比例得票数でも議席数でも前進させました(ニュース357号で詳報)。この共同の前進をおそれる勢力が、マスコミも大動員して“野党共闘は失敗”論を必死にふりまわしていることが、彼らの恐れと焦りを示しています。とはいえ、政権は維新など補完勢力の議席増にも力を得て、改憲を一気に実現する画策をはじめています。

国民が望んでもいない改憲にのめり込む政権に対し、“改憲ノー”を突きつけるのが夏の参院選挙です。総選挙で私たち共闘勢力に寄せられた1889万もの期待に応え、戦争への道“改憲”をなんとしても食い止めなければなりません。

土浦平和の会、そして私たちと共に平和を求めて奮闘してきた仲間が、引き続き地域で、街頭で、職場で、学園で、平和を学び・広げ、世代を超えた共感を広げていくことが今ほど求められているときはありません。共に頑張りましょう。

(土浦平和の会理事会)

街頭アピール 次回は1/19

改憲許すな!

1月の街頭アピール

1月19日(水) 午前10時~(30~45分行動)

ケースデンキ真鍋店前 主催：土浦 憲法共同センター

土浦憲法共同センターの街頭アピール行動は今年もしっかり継続していく決意です。昨年最後の行動には、「9条守れ、憲法生かせ」の新横断幕のもと16人が参加しました。

ひっきりなしに通る車と通行人の目を引く元気の出る行動に是非ご参加ください。

### 憲法改悪を許さない全国署名

新しい全国署名がはじまっています。憲法共同センターや九条の会などが加わる「全国市民アクション」の仲間が共同して取り組む署名です。



総選挙後の12月19日、16人参加で2021年最後の街頭アピール(ケースデンキ真鍋店前)



### 沖縄 名護市長選挙 カンパの訴え

#### オール沖縄 岸本新市政で新基地建設ストップを

沖縄県名護市長選挙(16日告示/23日投票)が迫っています。選挙は、名護市辺野古米軍新基地建設の阻止を掲げるオール沖縄の岸本ようへい(49歳・現市議)候補 VS 基地建設を容認し、米軍基地からの新変異株「オミクロン株」の急拡大に対しても沈黙の政府・自公丸抱えの現市長とのたたかいです。辺野古新基地建設を止め、市民の暮らし、健康、平和を守る市政へ、岸本候補勝利に向け、カンパをお願いいたします。

カンパは土浦平和の会理事あてにお申し出ください。

土浦平和の会



## 意見広告へのご協力 ありがとうございました

### 新聞意見広告賛同の報告と御礼

土浦平和の会では個人69名・75口、団体3口の賛同を頂きました。昨年の78名・83口団体3口には届きませんでした。

ご協力に心からお礼申し上げます。

### 際立つ日本政府の後ろ向き姿勢

昨年1月22日に発効した「核兵器禁止条約」の締約国は59カ国となり、国連加盟国の3分の1に達しようとしています。そして3月開催予定の締約国会議にはNATOに加盟しているドイツ・ノルウェー、さらにフィンランド、スウェーデンも参加予定で、ますます日本政府の後ろ向き姿勢が際立っています。

### 日本平和委員会のホームページから 次のYouTube動画がみられますよ

(絶好の学習資料です。前号に続き、再掲載しました)

- 首都圏のオスプレイ拠点化の現状とその意味
- 平和でつながる青年の意識と行動
- 土地利用規制法の危険性と止め方
- 総選挙結果をどう見るか、平和運動の視点から

### 新シリーズに寄稿を「父のこと」「母のこと」

皆様のご両親にまつわるエピソードなどお聞かせください。第356号から始まった新シリーズの寄稿が途絶えています。戦争と平和にこだわらず、楽しい思い出、破天荒な話も大歓迎です。

※原稿は900字をめど、最大でも1,000字程度でお願いします。



みなさん、お元気ですか。今年もお互い体に気を付けて頑張りましょう。

権力的な、そして大軍拡を押し付け、海外派兵を目的に憲法改悪に執念をもやして自公政権に立ち向かうには野党の共闘しがありません。広範な市民が「手を結びあうこと」にこそ未来の展望が見えてきています。

日本学術会議会員の任命を強引に拒否しました。政府に逆らうものは許さないというメッセージが込められています。そして、平成4年度予算案では過去最大の軍事予算を組んだのです。際限なき軍事対軍事の競争にのめり込んでいます。結果として、福祉、教育、医療などの犠牲はいとわれないのです。この状況はアメリカの世界軍

事戦略に追随して、自衛隊を海外で戦わせようとするところから起こっています。当然このような自衛隊の変質は憲法違反ですから、憲法9条の改定に執念を燃やすわけです。国会では憲法審査会が強引に動き出しています。

### 明けましておめでとございます

野党共闘と広範な市民の運動に活路  
「手を結びあうこと」その先に未来の展望が

岡田 安正 (土浦平和の会代表理事)

こうした方向に日本を持っていく自公政権に明確に反対し、その目論見をあきらめさせるには、野党の共闘と広範な市民の運動に頼

るしかありません。このような大きな狙い、権力的力の政治に対抗する「憲法を守り活かす野党共闘政権」を作り上げようではありませんか。私たち市民の運動もできるだけ広く「手を結びあうこと」が求められています。その先には未来の展望が見えてくるのです。



【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 会費：月額500円、「平和新聞」(毎月5、15、25日発行)：月額593円(送料含)

